

「中高一貫教育「先輩と語る会」

三月三日に北方にお住まいの岩間春吉さんが、八日に春日美束にお住まいの清王二三四さんが、十日に坂内川上の今井サミノさんが、十一日に房島の富田きみゑさんが九十五歳の誕生日を迎えるました。

岩間さんのお宅には樋口町長職務執行者が、今井さんのお宅には、井口坂内振興事務所長が、清王さんと富田さんのお宅には宗宮町長が訪ね、長寿のお祝いと報奨金を贈られました。これからも健康に気を付けて長生きしてください。



今井さんおめでとう

岩間さんおめでとう



富田さんおめでとう

清王さんおめでとう

三月三日に揖斐高等学校体育において野村哲也さん(清水建設社長)、高田藤市さん(元県議会議員)、高橋正壽さん(元大垣東高校長)の3人の揖斐高校OBと揖斐川中学校、北和中学校、揖斐高校の生徒で「先輩と語る会」が開催されました。OBの方々と三校の生徒代表によるパネルディスカッションそして先輩から若者への夢メッセージを通じて、生徒たちは普段学べない人生の貴重なアドバイスを受けることができました。

中高一貫教育「先輩と語る会」

三月八日、かすがモリモリ村薬草園において、春日中学校卒業生十七人が卒業記念植樹を行いました。この卒業記念植樹は、郷土愛と自然とふれあう安らぎの心を養うことを目的に平成元年から実施されております。

今年は、卒業生たちが三年間の思い出をこめ、力を合わせてミニカン科のしづくの木を植えました。卒業しても記念樹と共に成長し、春日に誇りと愛情を持ち、社会に貢献していくだけることを期待しております。

中学校の思い出を記念樹に 春日中学校卒業記念植樹

三月十七日に北方神社において「とりの子祭り」が行われました。「とりの子祭り」は江戸時代中期(約二百年前)の飢饉のとき、米の飯を食べてはいけないという布令が出され、米が食べられなかつたために、卵の形に似たおにぎりを作り「とりの子」といつて配ったのが始まりといわれています。現在でも豊作や無病息災を祈る祭りとして続いている。前日の十六日には、北方地区の約五十名の方が「とりの子」の準備をしました。今年は約七千個の「とりの子」が作られ、多くの方に配られました。



とりの子の準備

